

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 関ブロ大会開催直前開催準備は順調

- 4.5 **2** トピックス 「〈各地区公連研修〉 中越地区公民館職員研修会」
- 3** 視点 「趣味を活かして」 胎内市黒川地区公民館 森 敬史
- 3** ひろば 「唎酒師として」 上越市・上原みゆき
- 6** 実践記録シリーズ 「市民のつながりを力に、地域のあたらしい流れを創る」 NPO 法人くびき野 NPO サポートセンター
- 7** サークル交流 「パソコンをおもちゃに健康と生きがいづくり」(新潟市) / 「^こ好みな趣味を探しながら」(新発田市)
- 7** 素顔拝見 長谷川元美さん(長岡市) / 土田 昌史さん(小千谷市)
- 8** お元気ですか 出雲崎町・磯部友記雄さん
- 8** ネットワーク information



十日町青年学級の全体学習「半真空調理法で料理を作ってみよう」(十日町市)

表紙解説

中央公民館が主催する若者の学びと仲間づくりの場「十日町青年学級」で、月1回行う全体学習の様子。

「各地区公連研修」 中越地区公民館職員研修会

6月の「下越地区公民館職員研修会」に続いて、「中越地区公民館職員研修会」が7月17日(水)に長岡市中之島文化センターで開催されました。参加者は12市町村55名でした。



開会式 挨拶は中越地区公連・伊藤徳光副会長

① 研修内容

「生涯学習社会における公民館の役割」

② 研修Ⅱ〈演習〉

「チラシ作成のご参考に」
「公民館講座のPR」
「情報交換・グループ討議」

③ 講演

講演講師は新潟市大畑少年センター所長・真柄正幸氏で、前半は生涯学習の基本的な事項、法律の解説。後半



熱弁の真柄講師

は実践事例をあげて公民館の役割について熱弁をふるっていました。配布資料が整理されていて参加者には解りやすい講演だったと思います。

今回の研修会の主管は中越の主事部会で、代表の三条市中央公民館・小林直子氏が講演の冒頭で真柄講師の紹介をしました。



円滑な進行 長岡市・杉田主事

また、長岡市が今回の主管公民館であることから庶務・会場準備等の運営を行いました。また、司会進行は長岡市・杉田世里香主事が行いました。

② 演習は長岡市中央公民館課長補佐・山田宏氏が公民館事業のPR方法の一つとして、チラシ作成のノウハウを90分にわたって指導・演習を行いました。



演習Ⅰ

③ ②で作成したチラシを持ち寄り、グループで討議を行いました。普段からチラシ作成を経験している人のチラシはさすがにできばえが良く、初心者も感心しきりでした。

午前、午後5時間にわたる



演習Ⅱ

研修会は盛り上がりつつ閉会しました。

中越公連では今回の研修会に続いて、次の研修会を予定しています。

○平成25年度中越地区公民館長・主事・公連審等研修会
期日・11月21日(木)
会場・十日町千手中央
コミュニティセンター

また、関プロが中越地区が主管であることから、8月の大会には多数の職員、公連審委員等の参加を予定しています。

長岡市は大会紀要と記録集等の作成する広報部を担当していますので、大会前の編集作業に奮闘しています。大会終了後は記録集を作成しますので、年内は多忙を極めます。

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部150円 年間1,800円(いずれも送料含)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301 中野プラザ107 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-266-7711

視点

趣味を活かして

胎内市黒川地区公民館 森 敬史



昨年度から公民館に勤務しています。中央公民館と比べて地区公民館の稼働率が低くなんとかしたいと思い、趣味で続けているギターを材料に拙い講師役を務め、昨年度初心者ギター教室を開催しました。今年度はエレキギターを対象を絞って期間を長く設けて開催します。25年2月には市内の音響屋さんとタッグを組み、公民館講堂を会場にバンド演奏の他、ギター、ベース、ボーカルのワークショップなども実施。音楽を切り口に多くの若者

に公民館の存在を知ってもらい、気軽に利用してもらいたいと考えています。今後は近隣市町村と連携して持ち回りで音楽イベントをやれたら面白いと思っています。一時期は低迷したバンドブームも持ち直してきました。聖籠町でも9月に音楽イベントを立ち上げるようです。今後の展開が楽しみです。私もジャズフュージョンバンドを組んで活動しているので、機会を見つけて出演者としても盛り上げていけたらと思っています。

H O T N E W S

掲 示 板

関ブロ大会の開始式

大会初日の8月29日(木)に大会関係者(新潟県運営委員)で「大会開始式」を行います。

参集者 大会実行委員、総務部、全体会場部は全員
広報部、分科会部、会場・輸送部は参加可能な者

集合時間 8月29日(木) 9:00
集合場所 南魚沼市民会館

- 大ホール・ホワイエ**
- 次第**
- ① 実行委員長あいさつ
 - ② 全体日程説明
 - ③ 留意事項説明
 - ④ 各部会打合せ
 - ⑤ その他 連絡

* スタッフシャツを配布します。

* 名札がありませんので普段業務で使用している名札を着用。

業務開始 10:00

「剛酒師とっし」

ひろば

上越市・上原みゆき

新潟県内には、おいしいお酒がたくさんあって、その一つひとつを思いうかべただけで幸せな気持ちになつてきます。剛酒師の資格をとろうと決意したのも、酒や、酒づくりにかわる方々とのつながりの中から生まれる感動が根底にありました。

また、それぞれの地元で守り続けられている伝統野菜など、県内には魅力的な食材もたいへんに多く、酒のおいしさをさらに高めるような料理も数えあげたらきりがありません。食材のあれこれについて真剣に考えているうちに、やがて、フードコーディネーターの資格を取得するに至りました。



面から地域を元気づけていこう、発信していこう、という動きが今、さかんです。新しいアイデアによる料理を開発するとともに、暮らしている場所を、もう一度ていねいに見つめ直し、長年にわたつて伝えられてきた料理や調理方法について、学び直すことがたいせつなのではないか、と思つています。

お酒と郷土料理……その土地ならではのものとして敬意を払い続けていきたいです。

開催準備は順調

15	〃	副参事	龍池 則雄
16	〃	県社会教育委員連絡協議会長	永田 幸男
17	〃	新潟県生涯学習協会副会長	高橋 金一
18	〃	新潟県小学校長会長	加藤 誠雄
19	〃	新潟県中学校長会理事	小林 豊
20	〃	あしたの新潟県を創る運動協会副会長	佐藤 肇
21	〃	新潟県婦人連盟理事長	外石 栄子

3 日程等の詳細

当日の大会運営について、日程等の詳細が決まりました。

〈大会日程及び次第〉

第1日目 8月29日(木)

受付・・・・・・・・・・11:30~12:30

アトラクション・・・・・・・・12:10~12:30

御実城太鼓保存会 毘龍剣勇会

全体会・・・・・・・・・・12:30~16:30

【開会行事】12:30~13:40

(1)開会のことば 大会副実行委員長
内山 輝義

(2)公民館の歌斉唱

(3)主催者あいさつ
関東甲信越静公民館連絡協議会会長
湯浅 康夫

公益社団法人全国公民館連合会会長
鹿熊 久三

(4)来賓祝辞
新潟県教育委員会教育長 高井 盛雄

(5)歓迎のあいさつ
南魚沼市長 井口 一郎

(6)来賓紹介

(7)祝電披露

〈表彰式〉

(1)公益社団法人全国公民館連合会表彰

①優良職員表彰

②永年職員勤続表彰

(2)関東甲信越静公民館連絡協議会表彰

○功労者表彰

【朗読劇】13:55~14:15

「劇場版 社会教育と公民館 悩める兼任委員の実情」

出演・話題提供：上越市社会教育委員・公民館
運営審議会委員のみなさん

【講演】14:20~15:50

朗読劇で話題提供された事柄について「まとめの話」と講話。

新潟大学准教授 雲尾 周氏

【大会引継】16:05~16:30

(1)大会旗引継

新潟県公民館連合会会長 湯浅 康夫

埼玉県公民館連絡協議会会長 野口 信夫

(2)次期開催県あいさつ

埼玉県公民館連絡協議会会長 野口 信夫

【全体会閉会のことば】16:30

大会副実行委員長 高橋 治

〈第2日目8月30日(金)〉

分科会打合せ(分科会役員、司会者、助言者、発表者)8:00~

分科会受付8:30~9:00

分科会・・・・・・・・・・9:00~11:50

- 1 〈災害〉サンライズ南魚沼 大会議室
- 2 〈家庭教育支援〉サンライズ南魚沼 創作実習室
- 3 〈学校〉サンライズ南魚沼 研修室
- 4 〈地域振興〉サンライズ南魚沼 多目的ホール
- 5 〈若者が集まる〉南魚沼市民会館 実習室
- 6 〈高齢者学習〉南魚沼市民会館 多目的ホール
- 7 〈職員の専門性〉南魚沼市民会館 会議・研修室
- 8 〈事業の企画、評価〉湯沢町公民館 会議室
- 9 〈地域文化の伝承〉湯沢町公民館 客席
- 10 〈人権学習〉湯沢町公民館 研修室
- 11 〈健康づくり〉湯沢カルチャー 研修室
- 12 〈ボランティア〉湯沢カルチャー 会議室
- 13 〈公民館報の意義、役割〉湯沢カルチャー研修室
- 14 〈首長部局移管〉湯沢カルチャー ホール

解散(各分科会ごとに)11:50

3年前から始まった開催準備もいよいよ大詰めを迎えました。今大会は初めての運営方法が随所であり、関係者から「新潟方式」と呼ばれています。

①開催地が1市1町になった。

②レセプションは役員中心になった。

③セレモニー関係者の服装がクールビズになった。大成功になるよう祈るばかりです。

特集

関ブロ大会開催直前



事務局長
田原 理

8月29日(木)、30日(金)に南魚沼市と湯沢町で開催される第54回関東甲信越静公民館研究大会・新潟大会の開催直前になりました。開催準備は各運営部門とも順調に進んでいます。各部門は、総務部、広報部、分科会部、輸送・会場部でともにほぼ予定の業務を完了しつつあります。

本稿では、前号の「開催1ヶ月前」に続いて直前の準備状況について述べます。

1 実務者会議を開催

7月11日(木)に南魚沼市民会館において本大会の運営実務者会議を開催しました。



実務者会議

参加者は11名で次の担当者が出席しました。

①総務部(南魚沼市) ②分科会、会場・輸送部(湯沢町) ③広報部(長岡市) ④大会主会場管理者(南魚沼市民会館) ⑤事務局(県公連、中公連)

大会役員用「運営のしおり」を中心に特に未定になっている部分について協議して決定しました。

主な協議、確認事項

(1) 分科会人数

他県はすべて第一希望の分科会に。

少数希望の2分科会は新潟県、特に中越地区の参加者で第2希望がある者をあてる。

- (2) 参加申込総数は今日現在で822名。追加申し込みがあると思われるので最終では900名を超える見込み。
- (3) 宿泊ホテルは南魚沼市4、湯沢町4。総数は293名。追加や指定ホテル外の宿泊がある。
- (4) 運営のしおりの未定部分は渉外担当の県公連が総務部に連絡。早急。
- (5) 全体会の進行マニュアル・アナウンス原稿は県公連が作成。司会者(平井氏)とリハーサルも。
- (6) レセプション進行マニュアル・アナウンス原稿は総務部が作成。司会者(平井氏)に提供。
- (7) レセプション参加者は65名。追加あり。
- (8) 総務部。運営委員名簿を作成。市町村に配布。
- (9) 開始式の次第と参加者確認。分科会、輸送部は行動計画を別途、市町村に連絡。
- (10) 広報部は計画どおり進行。協賛広告は15社。追加あり。
- (11) 紀要の現地納品が8月22日なら編集日程に余裕。最終8月9日まで編集。
- (12) 袋詰めは前日。作業者の参集範囲は総務部から後日協力要請。

2 来賓決定

県大会も含め関ブロ大会の来賓参加者は次のとおりです。

〈来賓等名簿〉*敬称略

- | | | |
|----|---------------|-------|
| 1 | 公益社団法人全公連参与 | 神崎 節生 |
| 2 | 公益社団法人全公連事務局長 | 石川 正夫 |
| 3 | 新潟県教育長 | 高井 盛雄 |
| 4 | 南魚沼市長 | 井口 一郎 |
| 5 | 湯沢町長 | 上村 清隆 |
| 6 | 新潟県生涯学習推進課長 | 坪川 充 |
| 7 | 中越教育事務所長 | 山田 修 |
| 8 | 南魚沼市教育長 | 南雲 権治 |
| 9 | 湯沢町教育長 | 清水 道夫 |
| 10 | 講師(新潟大学准教授) | 雲尾 周 |
| 11 | 県生涯学習推進センター長 | 中島 憲一 |
| 12 | 〃 学習振興課長 | 青木 孝史 |
| 13 | 中越教育事務所社会教育課長 | 堀 隆行 |
| 14 | 〃 副参事 | 若月 俊彦 |

実践記録

185

シリーズ

市民のつながりを力に、地域のあたらしい流れを創る

NPO法人くびき野NPOサポートセンター

昨年度は300万円集まり14団体に助成、今年は1千万円をめざします。

現在新潟県内では約630のNPO法人が活動しています。福祉や環境、まちづくりなど分野は様々ですが、その中に団体支援を目的にしたNPO法人があり、中間支援組織と呼ばれています。県内初のNPO法人として平成10年に設立された「くびき野NPOサポートセンター」は、上越市、妙高市、糸魚川市が主なエリアの中間支援組織です。「みんなのまちはみんなで創ろう!」を合言葉に、NPOを通じた市民参画型社会の実現に向けて、情報、資金などを循環し、全分野対応の支援を行っています。

1. 市民目線で情報収集・発信 NPOPRESS

地元紙「上越タイムス」の紙面をNPOが取材・編集する、全国でも珍しい協働事例です。



2. 団体がまとまって活動をPR

くびき野市民活動フェスタ

団体がお金と知恵を出し合って実行委員会を構成、15年目の今年は70団体が参加、毎年夏に盛り上がります。



ステージパフォーマンス

(ご当地アイドルと大正琴のコラボ) と子どものフリマ

3. 市民による市民活動団体のための

「にいがたNPO基金」



街頭で募金のお願い

4. 全分野対応のボランティアコーディネート

上越市市民プラザNPO・ボランティアセンターでは常時200件以上のボランティア情報を掲示、その場でコーディネートします。



5. 講座・フォーラムの開催

時宜を得た、団体運営に役立つ講座やセミナーを開催。時には多くの市民を対象にフォーラムも。



フェイスブック講座 (長岡会場で)



北川正恭さんを迎える講演会

あとがき

財源も活動内容も多様なNPOは、その多様さゆえになかなか理解されにくい存在です。でもそこには必ず、地域への熱い思いをもった人の存在があります。地域の底力をあげるために、私たちは応援を続けます。(秋山三枝子)



再就職の為のパソコンではなくおもちゃにして楽しむこの教室は、今では三十人部屋が常に満タン。入会時の約束は少しでも身についたものを社会に還元することです。

パソコンをおもちゃに健康と生きがいづくり

活き生きパソコン

地域の中高年が毎週この教室を楽しみに公民館にやってくる。そんな「健康と生きがいづくりの生涯学習」を夢みて十二年前に立ち上げました。

パソコンのある家庭がこの

辺ではまだちらほらの頃、全国一斉にIT講習が始まりました。年に一度の数日間では身につくはずもなく、もったいないので講習が終わるやいなや受講者数人に声をかけ自主サークルを立ち上げました。

新潟市・活き生きパソコン
白井己致子 記

私たちの誇りは最新ソフトの機能を使いこなす講師です。御年なんと八十三歳！先生自作のテキストを手に、「先生より先にホケてなるものか！」と四苦八苦しながらも楽しみにして毎週学び合っています。



この
好きな趣味を探しながら

木の実の会

昨年、加治川地区公民館主催の「セカンドライフ趣味探し講座」があり、絵手紙、ラッピング、3B体操など6コース、楽しい時間を過ごしました。そこで集まった8人が、折角仲間になったからこれ



新発田市・木の実の会

小島 絹江 記

で終わるのはと主催者職員の薦めもあり、集まってできたほやほやの会です。会の名前は自分の好みの趣味が見つかり各々だけだけ実がつくかなど、小さい実が大きな実になる様に「木の実の会」と決めました。時には食事会（これがメイン？）をし、どういう会にしていくか和気あいあいの中、模索中です。また今年も公民館主催の講座に参加しながら仲間を増やし、会全体にも美味しい実がいっぱいつくのを楽しみにしています。

小千谷市公民館に勤務して1年目の土田昌史（つちだまさふみ）さんを紹介しします。土田さんは7月23日まで参議院議員選挙の応援で選挙管理委員会に駆り出されて、私たち残された職員は土田さんのいない間、本当に難儀をしました。公民館1年目とはいえ彼の偉大さに私たち職員は早く帰ってこいと願う毎日でした。激務から解放されようやくのんびりできるかと思っ帰ってきた土田さんを

小千谷市公民館

主査 土田 昌史さん



待ち受けていたものは…机の上のてんこ盛り状態。早速、施設管理や青少年事業などバリバリこなす土田さんお帰りなさい。ありがとうございます！！

見た目は強面（こわおもて）！？ですが、心優しき好青年で職場のムードメーカーです。これからも土田ワールド全開で頑張ってください。

（小千谷市公民館 大矢 泰行 記）

平成25年度新規採用職員で中央公民館に配属されたフレッシュな長谷川元美さんを紹介しします。

「こんにちは～」「ありがとうございました～」と明るく声をかける公民館の看板娘。滑舌がよくて話し方も丁寧、市民対応も電話対応もいつもにこにこ。仕事も積極的に取り組んで、初めてのことばかりだけど何でも一生懸命！時々失敗しちゃっても前向きに！一番年下なのに落ち着いていて、どこか古風な雰

長岡市中央公民館

主事 長谷川元美さん



素顔拝見

困気漂う平成生まれの「やまとなでしこ」。職員だけでなく来館者のみなさんにも好かれています。

そんな長谷川さんは仏像に関心を持ちつつ、好きな画家がいるほど洋画が好き！生粋の文化系です。彼女と話してみたい人は、美術館に行ってみると、もしかしたらばったり会えるかも？

（長岡市中央公民館 杉田世里香 記）

Net work

<県生涯学習推進センター 特別講演会>

県生涯学習推進センターでは、特別講演会を行います。
 「ふるさとを捨てる教育からふるさとを育てる教育へ」
 少子化や高齢化が進むとともに、都市化、情報化も進展しており、大人も子どもも人間関係が希薄になってきているといわれています。このような現状にあって、ふるさとを再生していくにはどのように取り組んでいけばよいかをいっしょに考えましょう。

- ◆講師 千葉大学名誉教授 明石 要一 様
- ◆日時 平成25年8月24日(土) 14:00～16:00(開場 13:00)
- ◆会場 県立生涯学習推進センター1Fホール
- ◆対象 生涯学習関係職員、学校関係者、PTA
子どもの教育や地域づくりに関心のある県民

【講師のプロフィール】
 【最終学歴】東京教育大学大学院博士課程単位取得満期退学
 【職歴】1993年～千葉大学教授 学部長(2005年-2007年)
 【専門分野】教育社会学(青少年教育)
 【主な著書】『ガリ勉でなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか』講談社+a新書 2013
 『子どもの規範意識を育てる』 明治図書 2009(単)
 『キャリア教育はなぜ必要か』 明治図書 2005(単)
 など著書多数

【主な受賞等】NHK地域文化賞受賞(2006年)
 文部科学省中央教育審議会委員 同審議会生涯学習分科会会長、同審議会スポーツ・青少年分科会委員 千葉市教育委員 千葉県青少年問題審議会副議長
 NHK関東甲信越放送番組審議会委員長
 県立生涯学習推進センター 平成25年度 特別講演会講師

■主催：県立生涯学習推進センター
 (新潟市中央区女池南3-1-2)
 TEL 025-284-6110 FAX 025-284-6019
 E-mail:nlpc@mail.lalanet.gr.jp
 <URL>http://www.lalanet.gr.jp/
 ■後援：新潟日報社 ■2単位認定 ■入場無料
 ■定員 186名 ■申込不要

お元気ですか

磯部友記雄 (出雲崎町)



平成17年に退職、さあ好きな俳句でも詠もうかと思っていたところ、町からお願いをされ、日々町内を走り回っております。地域支援コーディネーターもその一つで、小学校では所属している俳句会「渚会」の仲間と共に児童に俳句を教える「子ども俳句教室」など、子ども達が勉強以外の色々なことに興味をもてるような活動を支援しています。

また、地元出雲崎の街並や文化などの保存活動も行っております。つい先日には、出雲崎の「妻入りの街並」に絵を飾る展覧会を実施しました。町の景色が写った絵画や写真を町中の町屋に展示し、今年も多くの人から観てもらえたのですが、終了間際に天候が崩れ、大雨の中での片付けとなってしまいました。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

information

物産品販売

関プロ初日(8月29日)に地元の名産品を中心に物産品販売所を開設します。

- 1 場 所：南魚沼市民会館1階ホワイエ付近
- 2 時 間：10時30分～17時

予告

平成25年度下越地区公民館関係役職等研修会 兼 下越地区社会教育委員研究集会

- 1 期 日：平成25年10月3日(休)、4日(金)
- 2 会 場：佐渡市・トキのむら元気館
- 3 内 容：①佐渡市3大世界遺産の取組紹介
②分科会
③フィールドワーク
- 4 参加費等：全日程参加者15,700円
 <問い合わせ> 下越教育事務所社会教育課
 TEL 025-231-8361

道路ふれあい月間

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。

『ゆずり合い せまい道路も 広くなる』

国土交通省平成25年度

「道路ふれあい月間」推進標語小学生の部最優秀賞

新潟県道路整備協会

会長(田上町長) 佐藤 邦義

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事 務局長のつぶやき
 熱中症防止の備えをして
 いるでしょうか。
 7月までに熱中症での救急
 搬送車が全国で2万人を超え
 たとか。
 発生場所以外なのは風呂場
 です。昔から言われている「湯
 あたり」は熱中症なのではない

でしょうか。考えてみれば、高
 温多湿の代表的な場所です。
 夏の長風呂は厳禁ですね。
 今日から8月。これからが夏
 本番。体温を上回る日もありそ
 うです。
 夏を元気で乗り切ることを祈
 念しています。

(田原)